

ソフト・バドが優勝 3競技、4種目で県大会出場

第45回久慈地区中学校総合体育大会が6月16から18までの3日間、久慈管内の市町村を会場に開かれました。
普代中学校(木村利光校長、生徒97人)は、ソフトボール部が6年振りの優勝、バドミントン個人、団体で完全優勝、ソフトテニス女子が3位と健闘し、3競技4種目で県

大会出場の切符を手にしました。そのほか野球、ソフトテニス男子、バスケットボール女子は健闘むなしく1回戦で敗退という結果になりました。

ソフトボール競技は種市町民運動場で行われました。ソフト部(太田成美部長、部員19人)は予選リーグを1位通過し、決勝



6年ぶりの地区優勝を果たしたソフトボール部



完全優勝のバドミントン部 3位入賞の越戸(右)・松家ペア

トーナメントへ。トーナメント1回戦は久慈中と対戦。5-2で下し、決勝へ駒を進めました。決勝では宿戸中を4-3で下し、6年振りのうれしい優勝を飾りました。村社会体

育館が会場のバドミントン部(坂上将平部長、部員15人)は、久慈中を相手に団体・個人1位から3位まで独占し、完全優勝を果たしました。団体戦は久慈中を2-0で破り、同大会9連覇と記録を更新。個人戦シングルスでは古沼健(3年)が古川和幸(2年)を2-0で下し優勝しました。ダブルスは日野澤輝(3年)・落合勇樹(2年)ペアが坂上将平(3年)・砂合洋介(2年)ペアを2-0で下し優勝しました。
また、ソフトテニス久慈川近隣公園テニスコートで行われ、普代中女子ソフトテニス部(越戸菜摘部長、部員3人)は個人戦で越戸菜摘・松家菜ペアが3位に入賞し、県大会出場を決めました。
県大会は7月14日から16日の間、ソフトボールが一関、バドミントンが滝沢村、ソフトテニスが盛岡市でそれぞれ行われます。

36回村小学校陸上記録会

26種目で記録に挑戦



女子800メートル



女子400メートルリレー



男子走り幅跳び

第36回村小学校陸上記録会が6月20日、白井地区の多目的グラウンドで行われました。村内3小学校の3、6年生69人が参加し、26種目で記録に挑戦。子どもたちの一生懸命に大きな声援が飛び交っていました。

新記録は走り幅跳びで普代小6年の道下明賢君が4.737を記録し、20年ぶりの記録更新。昭和63年の佐々木良徳さん(鳥茂渡小)の4.729を8.7上回るものでした。

各種目の1位とその記録は次のとおりです。敬称略
◆5年男子▽100 宮本輝弥也(堀小) 15秒60▽走り幅跳び 宮本輝弥也(同) 3.73▽走り

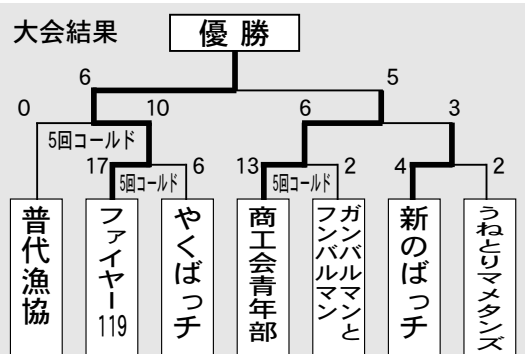
第51回国民健康保険旗争奪野球大会が5月31日、北緯四〇度運動公園野球場と村民グラウンドで行われ、ファイヤー119が2年ぶりの優勝を飾りました。
本年度は大会運営を村から商工会青年部(中村英伸部長)に移し開催。開会で大会長の中村部長は「天候にも恵まれ、皆さんの協力のもと本大会を迎えることができました。各チームともけがのないよう精一杯プレーしてください」とあいさつ。大会には職場、職域から7チームが参加し、熱戦を展開しました。

ファイヤー119、2年ぶり優勝 51回国保野球大会



優勝したファイヤー119の皆さん

優勝したファイヤー119は1回戦、やくばっちを17-6で圧勝。準決勝では普代漁協を10-0で破り決勝戦へ。決勝では前年度優勝の商工会青年部を接戦の末6-5で下し、優勝旗を手にしました。
ファイヤー119の佐々木一貴キャプテンは「チーム全員が最後まで集中力を切らさず、チームワークで勝利することができました。うれしいです」とメンバーの皆さんと喜びを分かち合っていました。



高跳び 中花成(同) 1.77▽フットボール投げ 駒木季音(黒小) 43.75 ◆同女子▽100 嘉村佳奈恵(黒小) 16秒27▽走り幅跳び 黒畑智美(普小) 3.72▽走り高跳び 澤口未来(同) 1.77▽ソフトボール投げ 赤坂小春(堀小) 20.18 ◆6年男子▽100 道下明賢(普小) 14秒09▽走り幅跳び 道下明賢(同) 4.737 ◆新記録▽走り高跳び 太田明寿(同) 1.77▽ソフトボール投げ 熊谷一之(同) 43.75 ◆同女子▽100 佐々木愛莉香(普小) 15秒56▽走り幅跳び 佐々木愛莉香(同) 3.79▽走り高跳び 熊谷枝美香(同) 0.90▽ソフトボール投げ 正路生菜(黒小) 32.71 ◆オープン男子▽80

ハードル 日野澤司(普小5年) 16秒15▽1000 戸田智哉(堀小6年) 3分39秒64▽400リレー 普代小A 59秒96 ◆同女子▽80ハードル 中村美里(普小6年) 18秒66▽800 中田夕翔(堀小6年) 3分10秒26▽400リレー 普代小A 1分07秒39

陸上久慈地方予選大会 普小児童5種目で1位

すごいぞ 道下君!! 走り幅跳びで、全国大会へ

賞状とメダルを手にする道下明賢君

第23回全国小学生陸上競技交流大会岩手県大会が6月23日、北上総合運動公園北上陸上競技場で行われ、普代小6年の道下明賢君が走り幅跳びで4.737の記録を叩き出し、見事優勝。小学校陸上競技では村初の全国大会出場が決まりました。

競技は予選3回、本選3回の計6回を行い、道下君は予選2回目に4.737を跳び全国切符を手に入れました。大会記録の5.725には及びませんでした。村陸上記録会の4.737を2.4更新しました。全国大会に向け道下君は「自己記録の4.737を超えられるよう、頑張りたいです」と闘志を燃やしていました。県選抜のコーチとして参加

する担任の馬場直幸教諭(34)は「自分の記録を伸ばすことはもちろんですが、全国レベルのいろいろな人たちと交流を持つて、普代に広めてほしいです」と話していました。道下君の現在の記録は全国では10位クラス。今後は盛岡市で強化合宿を行い、7月28日全国大会が行われる大阪府の長居競技場で上位入賞を目指します。

第45回全国小学校陸上競技交流大会岩手県大会の久慈地方予選大会が6月2日、久慈市総合運動場で行われ、普代小の5、6年生の17人が参加。それぞれが県大会を目指し精一杯競技しました。結果、5種目で1位の快挙を成し遂げました。各種目の上位入賞者は次のとおりです。
◆共通男子▽走り高跳び1位 太田明寿(普代小6年) 1.77▽走り幅跳び1位 道下明賢(同) 3.79▽ソフトボール投げ1位 松頭真二(同) 55.74▽400リレー 道下明賢・松葉健一・太田明寿・松頭真二(すべて普小6年) 58秒7 ◆共通女子▽走り幅跳び1位 佐々木愛莉香(普小6年) 3.79 ◆敬称略